



青柳小学校だより

令和6年度-2号

仲よく やりぬく たくましい子

令和6年(2024年)4月26日発行



笑顔であいさつを交わし、けじめのある学校生活を。

令和6年度が始まり、1か月が経ちました。各学級で、新担任と共に新たな気持ちで学校生活を送っています。全校集会では、**えがお** **あいさつ** **けじめ** について話をしました。

人と会ったら、「おはようございます。」「こんにちは。」と、声をかけることで、相手との関わりを深めるきっかけになります。さらに、笑顔を交わすと、相手も自分も良い気持ちになることができます。あいさつや笑顔は、人と人をつないで良い関係を築くために欠かせないものです。また、学校は学習をする場所であることから、けじめをつけて過ごすことが大切です。授業中は、勉強に集中し、休み時間は、友だちと楽しく過ごすなどけじめをつけて過ごすことで、気持ちを切り替える力を身に付け、学ぶ力や人と関わる力を伸ばすことができます。児童、教職員全員が、**えがお** **あいさつ** **けじめ** を意識して、充実した学校生活が送れるように心がけていきます。

本校では、全学年単級であり、6年間クラス替えがありません。ややもすると固定化された人間関係を懸念されるかもしれません。しかし、この環境の中で、互いの理解が進むので、人と適度な距離を取る力が身に付きます。また、本校は他学年と交流する機会が多くあるので、異年齢の人と上手に関わる力も身に付けることができます。これらは、生きていく上で大切な力です。昼休みや長休みに異年齢の子どもたちが混ざって楽しそうに遊ぶ光景は微笑ましいものです。



5月の行事予定

- 5月 1日(水) 避難訓練(火災)
- 2日(木) 全校集会 地域の方との外掃除 13:30~14:15
- 7日(火) 読み聞かせ(全学年) 市教育研究会のため14:15 下校
- 9日(木) 体カテスト(1~3年生) 歯科健診(全学年)
- 10日(金) 体カテスト(4~6年生) クラブ活動(4~6年生)
- 11日(土) 学習参観(5校時) PTA総会(書面決議) 学級懇談会 ※お弁当持参 14:10 下校
- 13日(月) 振替休業日
- 14日(火) 検尿2次
- 15日(水) 安全点検 内科健診(2,3年生)
- 16日(木) 民生委員児童委員との懇談会
- 17日(金) 委員会活動(5,6年生) 内科健診(5,6年生) PTA正副委員長会 PTA代議員会
- 20日(金) 県教委学校訪問 14:50下校
- 21日(火) 環境センター見学(4年社会科) 尿検査2次(予備日)
- 22日(水) 耳鼻科健診(1年生)
- 23日(火) 眼科健診(全学年)
- 24日(金) 内科健診(1,4年生) スクールガード養成講座(スクールガードさんと一緒に下校します。)
- 25日(土) PTA環境整備作業 8:30~
- 29日(水) ごみゼロ活動(ごみを拾いながら字別に下校します。)帰宅は、水曜日の下校時刻となります。
- 30日(木) ホールの子事業(4年生)

子どもたちが運動場の草引きをします。ご家族の方も都合がつけば、ぜひご参加ください。

※都合により変更する場合があります。ご了承ください。

令和6年度「青柳小学校 取組プラン」について

本年度も「自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成」を目指し、具体的な取組プランを設定しました。
保護者や地域の皆様にはご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本年度の重点目標	具体的方策
【学力の向上】 ○「我が校の学ぶ力向上策」の点検、見直しにより、基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ○保護者と連携し家庭学習や読書の習慣化を図る。 ○算数科、理科、社会科の専科指導を充実させる。 ○ICT 機器の有効活用を図る。	○「我が校の学ぶ力向上策」にPDCAサイクルで評価、改善を加え、実効性のあるものにする。 ○保護者との連携のもと、学力向上の土台となる自己肯定感を育む活動(『長所の花を咲かせよう』活動)や『読書カレンダー』に取り組む。 ○授業において、導入の工夫、めあて、振り返りの確認を意識する等、わかる授業の実践に努める。
【言語活動の充実】 ○国語科における言語活動を基盤として、各教科等においてもその特性を生かしながら言語活動の充実を図り、「読み解く力」の育成を図る。 ○読書活動を充実させ、読書の楽しさを実感させる。PTA 活動でも家庭読書に取り組む。	○毎学期「書くこと」の単元で、題材の設定や書く表し方の工夫、推敲、共有の学習過程を踏まえた丁寧な指導に取り組む。 ○全校で「朝読書」に取り組む。図書館との連携による「ブックトーク」や「図書館訪問」、「学級文庫の充実」を図る。
【小中一貫教育の推進】 ○小中一貫教育標準カリキュラムを活用する。 ○小中一貫した道徳教育推進のための共同授業研究を推進する。	○上学年で専科指導を実施し、中学校でのつながりを意識した授業づくりに取り組む。 ○小中学校教員による共同授業研究へ参加する。 ○道徳アンケートや授業の様子で児童の意識変容を探る。
【道徳教育の充実】 ○子どもが生き生きと学び合い、伝え合う道徳授業を実践することで豊かな人間性を育む。	○よりよく生きるために自己の生き方を考え、議論する授業展開を工夫する。
【集団づくり】 ○いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ○けじめのある生活を送ることのできる集団を育成する。 ○周りの子どもたちや大人に対して思いやりの気持ちをもって接することのできる集団を育成する。 ○異学年交流を通して望ましい人間関係の育成とリーダーを育てる。(たてわり活動、集団登下校)	○生徒指導や教育相談に関する情報交換や、校内ケース会議を定期的で開催し、専門家や関係機関との連携のもと、適切かつ早期に対応する。 ○「たてわり活動や全校的な行事では、自分から進んで活動している。」(児童評価 90%以上) ○「進んであいさつや返事をしている。」(児童評価 90%以上) ○異学年交流や児童会活動の活性化を図る
【“藤樹”学習を中心とした地域との連携】 ○中江藤樹の教えを学ぶ機会や、地域の「人・もの・こと」から体験的に学ぶ機会を積極的に設ける。 ○「藤樹デー」は、全校児童が楽しみ学べるように、高学年が中心になって企画する場面を設ける。 ○ACやPTA、地域学校協働本部との連携を密にし、地域学校協働活動の充実を図る。	○「学校では藤樹先生に関する学習をしている」(児童評価 90%以上) ○「藤樹デー」「大洲小学校との交流会」等の本校ならではの取組の継続と充実を図る。 ○ACや地域学校協働本部と連携し、学校地域連携カリキュラムを活用し、地域連携を図る。
【教職員の資質向上】 ○子どもの力を伸ばす教職員の実践力の向上。 ○関係機関との連携の充実。	○全教職員が「全児童の担任」という意識で、児童に関わる。(学習・運動・遊び等) ○積極的に研修へ参加する。